

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

| | |
|-------------------|----------------------|
| 平成 2 2 年度 実施事業 | 事務事業名 文化財保護経費 |
|-------------------|----------------------|

| 区分 | 番号 | 名称 |
|--------|-----|--|
| 章 | 5 | 豊かな個性と人間性を育むまち |
| 節 | 3 | 市民の個性ある文化活動と文化を育む |
| 施策 | 2 | 文化の保存・継承 |
| 小分類 | 1 | 歴史の伝承と活用 |
| 主要な施策 | 2 | 埋蔵文化財の保管、展示施設の整備と学習会の開催 |
| 事務事業番号 | 001 | 事務事業コード 53212001 事業開始年度 昭和 4 5 年度 事業終了年度 平成 - 年度 |

| | | | |
|------|------|------------|---------|
| 会計種別 | 一般会計 | 予算書上の事務事業名 | 文化財保護経費 |
|------|------|------------|---------|

| | | | |
|-----|-----|-------|--------|
| 部 名 | 教育部 | グループ名 | 社会教育 G |
|-----|-----|-------|--------|

| | |
|-----------------|--|
| 統合前または名称変更前の事業名 | |
|-----------------|--|

事務事業の目的と成果

| | |
|--------------|---|
| 目的 | <p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> 郷土を形作る文化財の保護と活用を図り、ふるさと登別を大切にすることを養う。 |
| 手段（事業の内容・活動） | <p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> 市民に対する指定文化財等の周知、文化財の保護活動、活用等を実施する。 埋蔵文化財事前協議（進達・試掘調査・工事立会調査・発掘調査）：2件 縄文出前講座等の普及事業（市内の小学校及び各種団体等）：8件 市民を対象としたアイヌ文化講座：1件 遺跡の変更・登載手続き 刀剣類・史跡名勝天然記念物等の事務手続き など |
| 成果 | <p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> 文化財の保護・活用等により、市民が郷土の歴史や文化に親しむことができ、郷土に対する理解が深まる。 |
| 根拠法令等 | <p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p> 文化財保護法 登別市文化財保護条例・登別市文化財保護条例施行規則 |

指標の推移

| 区 分 | | 単位 | 区分 | 22年度 実績 | 23年度 目標 | 24年度 目標 | 25年度 目標 | 26年度 目標 |
|----------|------------------|----|-----|------------|------------|------------|------------|------------|
| 成果 指標 | 登別市指定文化財数（年度ベース） | 件 | 目標値 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 |
| | | | 実績値 | 7 | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |

事業費の推移

| 区 分 | | | 単位 | 22年度 決算 | 23年度 当初予算 | 24年度 見込 | 25年度 見込 | 26年度 見込 | 24～26 年度 |
|---------------------------------|-------|----|-------|------------|--------------|------------|------------|------------|-------------|
| 事業の 財源内訳 | 国庫支出金 | 名称 | 千円 | | | | | | 0 |
| | 道支出金 | 名称 | 千円 | | | | | | 0 |
| | 地方債 | 名称 | 千円 | | | | | | 0 |
| | その他 | 名称 | 千円 | | | | | | 0 |
| | 一般財源 | 名称 | 千円 | 224 | 287 | 345 | 345 | 345 | 1,035 |
| 合 計 | | | | 224 | 287 | 345 | 345 | 345 | 1,035 |
| (参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費 | | | 職 員 | 千円 | 4,059 | 4,172 | | | |
| | | | 嘱 託 員 | 千円 | 0 | 0 | | | |
| | | | 臨時職員 | 千円 | 0 | 0 | | | |
| | | | 合 計 | | 4,059 | 4,172 | | | |

担当グループによる事務事業評価の内容

| 1. 事務事業の妥当性について | | | |
|--|---|----------------|---|
| 今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？ | → | 妥当である | 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ |
| | → | 妥当ではない | |
| 法律（文化財保護法）で義務付けられており、文化財は国民共有の財産であることから、今後も市が事業主体として保護と活用を図っていくことが妥当である。 | | | |
| 2. 事務事業の成果について | | | |
| 成果はあがっていますか？ | → | 成果があがっている | 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ |
| | → | どちらかといえばあがっている | |
| | → | 成果があがらない | |
| 新たな埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の発見、発掘調査や縄文出前講座・アイヌ文化講座等の普及事業により、郷土への関心をより深めていくことができる。 | | | |
| 3. 事務事業の成果向上について | | | |
| 成果を向上させることはできますか？ | → | 大きく向上させることができる | どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ |
| | → | 少し向上させることができる | |
| | → | 向上させることはできない | |
| 市民に情報提供を行う手段として、ホームページ等により市内文化財の紹介や埋蔵文化財の事前協議の説明、また講演等の普及事業により市民意識の啓蒙・啓発を図ることができる。 | | | |
| 4. 事務事業の経済性・効率性について | | | |
| 成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？ | → | 削減できる | どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ |
| | → | 削減できない | |
| 開発に伴う試掘調査は、地方公共団体に委ねられているため、コストの削減は難しい。また、講座の充実のため、講師に対する経費の削減は難しい。 | | | |

担当グループによる評価

| | | |
|-----------|----------------------|---|
| 維持 | 左記の評価を選択した具体的な理由（根拠） | 心豊かな生活を送るために、ふるさと登別に関連する文化財の保護・活用は、地方公共団体の責務であるため、今後も維持していく必要がある。 |
|-----------|----------------------|---|

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

| | |
|-----------|----|
| 維持 | 備考 |
|-----------|----|

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）